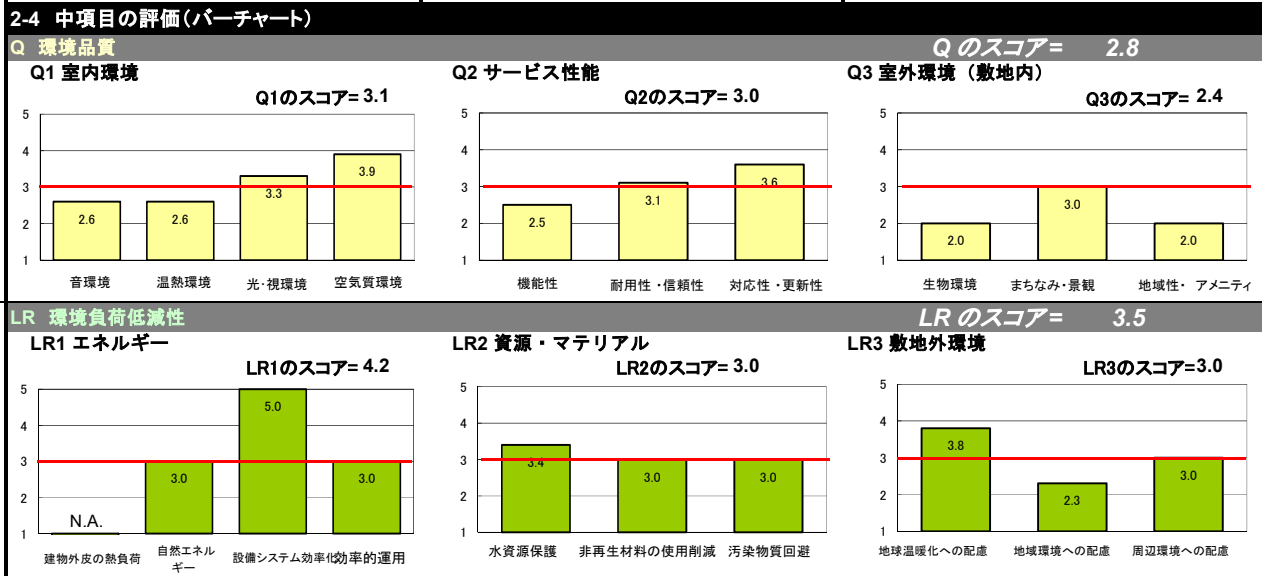
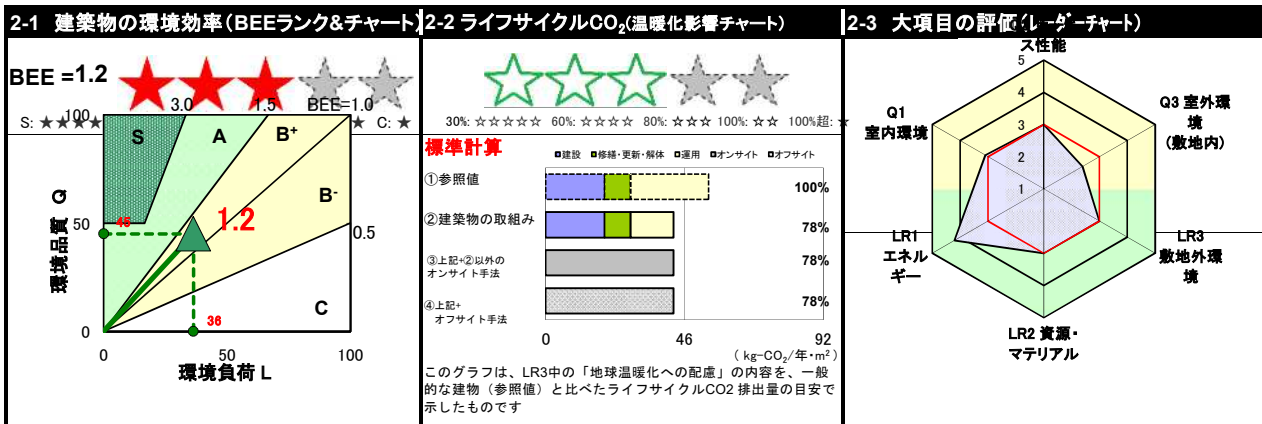
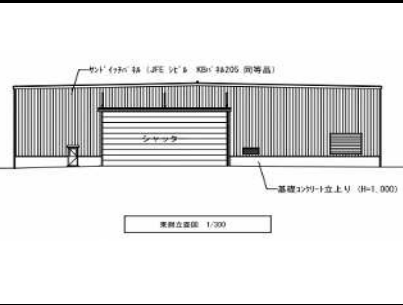


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大江工業平塚工場新築工事	階数	地上1F、地下0F
建設地	平塚市四之宮七丁目1318番1、1318番12、1318番13、1318番14、1318番23	構造	S造
用途地域	工業専用地域、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年10月 予定	評価の実施日	2019年11月6日
敷地面積	11,941 m <sup>2</sup>	作成者	(株)松尾工務店一級建築士事務所
建築面積	5,763 m <sup>2</sup>	確認日	2019年11月6日
延床面積	5,670 m <sup>2</sup>	確認者	(株)松尾工務店一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 利用者に配慮し、F☆☆☆☆を採用している。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 F☆☆☆☆を採用している。	Q2 サービス性能 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。	Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BE I m=0.55、LED照明設備を採用。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓、節水型便器を使用している。	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> 排出率78%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される